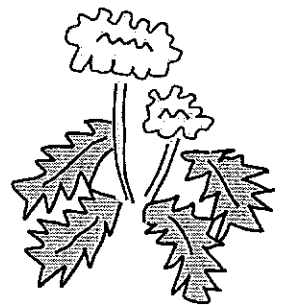


No. 194  
 H15年8月1日  
 一 発行 一  
 〒869-1217  
 熊本県菊池郡  
 大津町森 54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100



きるようになっていくのではない  
 でしょうか。

「自閉症」という障害の特徴か  
 ら、どうしても陥りがちな対物関  
 係（モノに執着してしまう）をい  
 かにして対人関係へと導いていけ  
 るかが、私たちの仕事だと感じて  
 います。

「モノ」に拘束されている時の  
 利用者の表情には、ゆとり（余裕）  
 がないように思います。

「人間らしく」生きていく事と  
 は、人の中で「やり取り」ができ  
 る（「共存」できる）というこ  
 とではないかと思うのです。

「共存」やり取り」

主任スタッフ 伊豆野 良栄

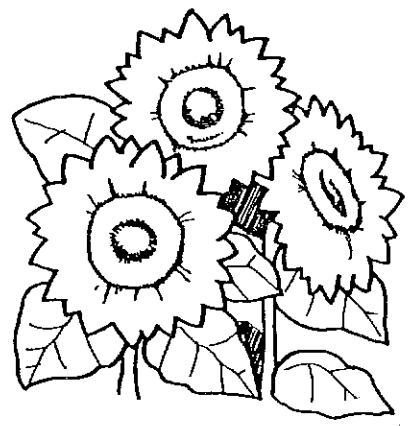
自閉症児者の3つの特徴として、  
 コミュニケーションの問題（言語  
 の遅れ、想像的活動の障害）・社会  
 性の問題（認知の障害、対人関係  
 の遅れ）・特異な行動の問題（常同  
 行動、こだわり、パニック、自傷、  
 他傷、感覚刺激、感覚異常など）  
 があります。

現在、自閉症児者の関わりの主  
 流となっているのは、コミュニケ  
 ーションの問題や社会性の問題か  
 らくる適応力の弱さをカバーする  
 為の環境設定です。視覚的に分か  
 りやすい環境を設定し、特異な行  
 動である常同行動やこだわり等を  
 その子の「個性」として捉え、出  
 してくる様々な言動を認め、その  
 子のありのままの姿に合わせた環  
 境作りや関わりを重視されている  
 のが一般的なようです。勿論、環  
 境設定や視覚的な情報を提示する  
 事で、自閉症児者にとっては、必  
 要な情報が明確になり混乱が少な

くなるという点では、大変良い方  
 法だと思えます。三気の里でも  
 色々な活動の場面で、分かりやす  
 いように環境設定を図っています。  
 ただ、全ての人がこのような環境  
 設定に乗れる訳ではなく、不適応  
 行動を強く示す人にとっては、対  
 応が苦慮されているのが実情のよ  
 うです。

気になる事は、環境設定に頼り  
 すぎる事やこだわり等を認めすぎ  
 る事で「環境・物」対「自分」（対  
 物関係）ばかりが日常化してしま  
 い、本来の「人間関係」がおき  
 ざりにされてないか？という事で  
 す。三気の里の作業場面に例に挙  
 げてみると、利用者の能力の程度  
 に関係なく（その本人に能力があ  
 るからといって）、好きなようにさ  
 せている訳ではありません。スタ  
 ップの「始めていいよ」の合図に  
 合わせて開始し、一定時間任され  
 た仕事を継続して行い、「終わりで  
 す」の合図で終了…。といったよ  
 うに、スタッフの指示に合わせて

作業を行う事や、「終わりの報告」  
 「要求を伝達する」といったよう  
 に、人に伝えられる力を大切にし  
 ています。また、作業場面だけで  
 なく日常生活の中でも同様、ルー  
 ルや挨拶（礼儀）・マナー・エチケ  
 ットといった「人の中で共存する  
 ための基礎」を生活場面の「コマ  
 コマの中で、しっかりと伝える  
 ようにしています。このような事  
 を教えていくのは、やはり「人」  
 であり、伝えていく為には「やり  
 取り」が必要になってきます。（教  
 える事で、「やり取りする力」が養  
 われていきます。）また、このよう  
 な取り組みを行う事で、不適応行  
 動を起こしやすくない人であっても、  
 スタッフとの関わりの中で回避す  
 ることができたり、回避の方法（手  
 続き）を身に付けたりすることが  
 可能になってきています。更に、  
 「人とやり取りする力」が身につ  
 くことで、人間らしい（温かみの  
 ある）生活が生まれ、利用者の皆  
 も人を頼りに（安心して）生活で



# 班にゆーす

## 2班・努力と成長

本格的な猛暑を迎えようとしています。夏バテ対策はできていますか？夏バテ対策には、果物が1番です。2班の作業は、果物の保護用ネットの折り込み・梱包作業です。この作業はなかなか難しく、毎日2班のメンバーは悪戦苦闘をしています。作業を始めて間もない4月には、作業が進まず納品が月に1度、2度しか行けませんでした。しかし、月日が立つにつれ仕上がる製品の数が増え、今は、作業のスピードが目を見詰めるかのように伸び、納品が月に3度、4度も行けるようになりました。一人一人が持てる力を十分に出し努力した事が、この結果を生んだのだと思います。このまま頑張れば、皆さんの楽しみにしている毎月のお給料が増えるのも夢ではありません。給料日にみんなでご飯を食べに行けるのを目標に、これから一緒にもっともっと頑張ってください。我々、スタッフも皆さんに負けぬよう頑張ります。

山部

## 工房・「名前」

今回は、さんサン工房で現在取り組んでいるうちのひとつで、特に『報告をしよう』という事についてお話ししたいと思います。

作業中に手元の部品が切れてしまったら『〇〇さんグロメットを下さい。』もらったら『ありがとうございます。』作業が終われば『〇〇さん、終わりました。』と報告をして待ちます。次の部品をもらう事も、終わる事も、スタッフの名前をきちんと呼び報告しなければなりません。まじめなMさんは、先日、部品が切れてしまい何か困っています。(うーん報告はしたいけれど、うーん)最初の言葉につまっている様子でした。うーんと悩んだあげく、大きな声で『大牟田さんグロメットを下さい。』なんと、スタッフの名前が(大橋と中牟田)合体してしまったのです。他にも工房にいない、自分の担当の名前を呼ぶ人や10年位昔に退職された指導員の名前が出てきたりと、3ヶ月もたって、自分達の名前も覚えてもらってない事にショックを受けました。私達スタッフは早速、部屋の壁に名前を書いて貼り、名札をさげ、時には背中にも名前を書いて貼り、とにかく名前を呼んでもらえる様取り組みを行い、今では本当の(!?)名前を呼んでもらえる様になりました。

相手の名前を覚えるという事は大切な事でコミュニケーションを計る第一歩なのですが、結構難しいです。これからも毎日の積み重ね、頑張ります。

中牟田



## 通所部・ニュース

昨年6月に療育相談に訪れた山内さん親子。1年を掛けて徐々に徐々に、社会適応力を身に付けてきました。色々な行動障害を引き起こしていた彼は、ご両親の悩みの種でした。彼自身も、自分の身の置き所が分からず、荒れ果ててしまい、随分苦しんできたと思います。相談に訪れた時の親子の顔は、私の中で今も鮮明に残っています。あれから1年。亮君とお母さん・施設・病院との連携の元、一つずつきちんと整理をし、自分の行動を振り返り、亮君に生きる道を選択してもらってきました。日常生活の中での細かいやり取りの中で、コミュニケーションの仕方、自分の気持ちをコントロールする力、周りを見る力が育ってきたように思います。満1年が経った今、彼は職場実習に行く事になりました。仕事は、工場内のバリ取り作業。毎日、汗だくになりながら頑張っています。今はまだ、実習生の立場ですが、日一日と少しずつ慣れてきました。亮君の今の目標は「早く三気を卒業して、毎日会社(仕事)に行きたい!」との事。作業工員の方達と一緒に頑張っている姿は、きついはずですが、本当に嬉しそうです。今回は、亮君の仕事ぶりも掲載したいと思います。 伊豆野

### 1班・初めての乗馬

私たち一班は、レクリエーションにて、乗馬に挑戦してきました。普段なかなか経験できないため、少々不安がありましたが、まずはどれだけ馬に触れるか?馬に近づくことからはじめてみました。あの大きさに圧倒されるのか、なかなか触れない人もいましたが、犬は大嫌いだが、馬なら大丈夫と平気で近くにより触れ合う人とさまざまでした。

そしていよいよ乗馬にチャレンジ!まずは、先ほど馬に触れた人から挑戦!難なく馬にまたがり、スタッフのフォローの必要もなく(「気持ち良い」という声もあり)乗馬を楽しめていました。次になかなか触れなかった人…と順番にチャレンジしてみました。乗る前は少し怖がりながらも、馬に跨り歩き出すと、肝を決めたかのように嫌がることも無く場内一周の乗馬ができていました。始めは強ばっていた表情も徐々にとれ、一周歩き終わるころには余裕の表情に変わっている人もいて、スタッフの予想を覆し殆ど全員乗馬を楽しむことができていました。今回の乗馬を通して改めて、皆には自分達が思っている以上の可能性があるのだと実感しました。今後、いろんなことに挑戦し、経験することで皆の楽しめる事を増やしていくと共に、スタッフ側も新しい事を経験する為の援助もしっかりと行っていく必要があると感じました。 宮原

### 3班・長雨だし、熱いし…

今年の梅雨は長いです。春に畑一杯に撒いた種や苗が、初夏の頃には見事な実をつけることだろうと楽しみにしていたのですが、見事に期待を裏切るほどの雨・雨・雨。今年の雨はなかなか太陽を見る事が無いほど降り続け、畑への水撒きは大丈夫なのですが、いつまでたっても苗は上に伸びる事が出来ず、期待していた夏野菜も実がつかず殆どが全滅のようです(まだ期待できる野菜もあるのです)夏の間は畑も夏期休暇にして、秋の味覚に向けて、梅雨明け宣言と共に、がんばる宣言をしたいと思う今日この頃ですが、梅雨明け間近になり、暑さも夏本来になってきました。とにかく暑い。作業棟が新しい所に変更になったのですが、殆どが男所帯の農園芸班。想像すれば分かると思うのですが、まるで、高校の頃の部室といった感じです。この蒸し蒸しとしたところから開放されるようにと今は、作業の合間の休憩は、作業棟近くのあずま屋にて過ごしています。自然の風が一番です。キンキンに冷えた麦茶を飲むときの至福のときは何ともいえない感じです。夏だ~と言う感じですかね。 八木

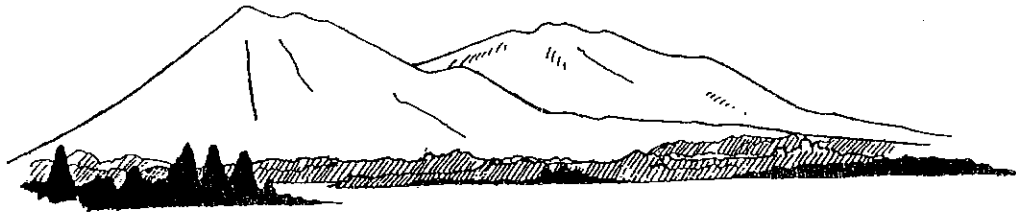


# 班にゅーす・2

## 4班・晴れてデビュー

今年の4班は、ハガキ製作を中心に紙すき作業を行なっています。さて、今年から紙すき班に入った笑顔がステキな昭子さん！ミキサーかけの担当としてデビューしました。（“ミキサーかけ”は、紙の原料・水・のりをミキサーで混ぜ合わせ、紙になる液体を作る重要な工程です！）昭さんは、電源のスイッチを入れるのが上手で、楽しそうにスイッチを押しています。他のメンバーも一人一人担当をもち、牛乳パックを切る人・パックについているラミネートをはがす人・実際に紙すきを行う人…などにわかれて、作業を行なっています。これからも、みんなで力を合わせ、綺麗なハガキを作っていきたいですね。

末松



## 七夕

毎年、7月になると食堂に笹が飾られます。皆、折り紙で色とりどりの飾りを作り、それぞれの願い事を短冊に託します。

折り紙が得意なさゆりさんと綾子さんは、はさみを使ってきれいな星を作ったり、天の川を作ったりと、とても上手でした。皆の願い事は様々で「旅行に行きたいです」「ゲームが買いたいです」との要望や「お給料が増えますように」「さんサン工房（作業所）に行けますように」との仕事に関する願い事が多かったようです。中には「お母さんの病気がよくなりますように」との家族の健康を願う短冊も見られました。星々に願いを込めて。皆の願いが叶いますように：

石田

☆利用者インタビュー【坂本さん】  
（願い事は何を書きましたか？）  
パジエロとミッキーマウスの携帯電話がほしいです。

（七夕祭りはどうでしたか？）  
笹に願い事をつけるのが楽しかった

たです。食堂の装飾も綺麗でした。（将来の目標や夢はありますか？）  
アルバイトをしながら一人暮らしがしたいです。

●将来の目標を語る坂本さんの目はとてもキラキラと信じて、しっかりと願いが叶うと信じて、これからも一緒に頑張りましょうね！



## 療育雑記

目標をもつ

石丸 直美

中学校を卒業して、お弁当屋さん就職して働いていたGさん。

「ランチセンターも嫌」「家も嫌」「施設がいい」と言つて10年前に三気の里に逃げ込んできました。

きつくて、疲れていても手を休める事が出来ず、頑張りすぎてマ イっていたところに、Gさんの嫌いな人のおせつかい（言葉）が大きいのか、地域での生活（仕事をすること、家庭で生活すること）をギブアップしてしまいました。しかし、実際施設での生活が良かったわけではなく、毎日背を丸め、耳を塞ぎ、目をそむけて10年という月日を過ごして来ました。

そのGさんが、最近顔をキリッとさせ、あえて今まで大嫌いと言つて避けてきたことに取り組み場面が増えてきました。その裏には自活訓練のスタートがありました。

今まで、スタッフとの約束として「人と仲良く」、「仕事を頑張る」、「言われたことはする」等々を言われ、本人も、頭では解つていま

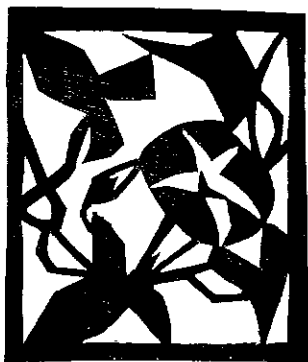
した。しかし、その場になるとパニックになるか、ひたすら拒否するかでした。「頑張る、頑張る！」と言いなから頑張りきれず、そして最後には背を丸め、動きが取れなくなつていくのでした。―彼の母は「頑張る」という言葉をあえて彼にはかけませんでした。「頑張らねば」という思いに彼が潰されていくのを見てきたからです。―

しかし、今の彼は違います。起きてから寝るまで、手順や決まりごとを復唱しながら全てにおいて真剣に取り組んでいます。一ヶ月前迄は大きな声を上げたり、物を投げたりといった行動も、今では歯を食いしばり、後では自分で乗り越えられたこと、頑張れた事を「よく出来ました」、「頑張りました」と笑つています。今まで私達スタッフは、「大人として（人として）、恥ずかしくないように」とか「決まりだから」という言葉だけで納得させながらすべきことを指導してきました。しかし、そこには具体的な目標、イメージできる目標を持つたことはありませんでした。今は放送の入らない生活、一人で湯船につかれる生活、一人の空間

がある生活、静かな生活等々を手に入れるために、面倒で今まで人任せであったことを今は全て自分でしています。Gさん自身が「頑張ります」と自らの意思で動き始めました。自らの意思・判断であるため「頑張る」という言葉におす。人はその気になれば何だつて出来るというのが私のモットーです。Gさんを見ていて、その気になれるか否か、その気にさせられるかどうか。そのために常に本人が望む目標を見せ続けなければいけません。スタッフの目標を押し付けるのではなく、本人に目標を持つてもらふことです。

自活訓練をしてGさんの第一声は「一人でお風呂に入りました。」でした。一人で湯船につかることは何でもないことなのですが、入所施設で暮らす人にとっては特別なことになつてしまうのです。「放送が大嫌いです。」と、いつか、放送のない生活を望むGさんの望みは、やはり独特なものを感じてしまします。また、施設でも自宅でもテレビを嫌い、一切テレビの音を受け入れない彼が、訓練棟で

テレビを見て過ごします。「明日、フレンドパークを見てもいいですか？」と話します。一体何なのでしようね。10年前はきつとこのよいうなことも当たり前の生活であったはずなのに。私自身が自活訓練を通して、やはり施設は当たり前なことを当たり前にすることが難しい空間なのだとは再確認する場になつています。まだまだ課題は山積みです。長い生活を送る中でGさんの嫌な場面もたくさん出てきます。歯をくいしばつていて、自然に出来るようになること、周囲と調整が取れること、そして2度目のギブアップ（失敗も経験で貴重なことも多々ありますが）をさせないこと等々。Gさんの課題を考えた時、私自身の課題の方が大きいように思えます。



## 保護者だより

竹下由美子

今日は、泰貴の帰宅日。片道2時間半。のんびり、ゆつくり自宅までのドライブとなる。途中でトイレタイム、コーヒータムをとるながらの二人だけの時間を過ごす。

今回は、二週間目の帰宅日となり、とても首を長くして待っていた様子。車に乗り込むと同時に体を揺すり、喜びを表現する。その姿を見ると、迎えに来て良かったと嬉しく思う。

彼は言葉を上手に話すことが出来ないで身体全体で感情を伝える。ドライブ中は、後部座席にもたれ、音楽鑑賞しながら、特に音楽が好きらしくリズムに合わせ指をパチパチ鳴らしたり、頸部をパタパタとたたきご機嫌である。家に着くと、連絡帳が気になるらしく、ソワソワしている。よく彼のことを観察されている連絡帳に目を通し、努力している点、頑張っている点を誉めると、一安心するようである。少しずつではあるが、彼の成長ぶりをみて保護者としてとても嬉しく思う。以前の彼は、

食物への欲求が強く、自宅がまるで食物の宝箱のように、あらゆる所を探し、食べるのを見ると閉口したものだ。勿論、冷蔵庫の開閉が頻繁で、その都度注意を促しても効果がなかった。現在はそのような行動が嘘みだに見られなくなった。欲しい物がある時は、例えば「お水を下さい」、「ジュースを下さい」と伝えるようになった。このように成長できたのも、今まで彼の事を厳しく、やさしく御指導下さった各先生方、又、家族会の皆様のお蔭であり、心より感謝申し上げる次第である。最近は、担当の先生の名前を彼なりに呼び、信頼している様子が伺える。私共保護者としては、小さな約束でも必ず守るよう心掛け彼のこれからの成長を見守っていき、一歩でも二歩でも自立できればと願う。

## 「食堂営業中」

バイキングを始めて六回目になりました。今回は、冷たい麺のバイキング(うどん・そば・そうめん)と、トッピング(錦糸卵・ハム・キュウリ他)。迷わず好きな麺を選んだり、三種類組み合わせで、お得な食べ方をしたりと色々ですが、選ぶのは、多少時間はかかりますが、前回よりも、順番や待つことが出来るようになったと思えました。これからも、もっと色々なバイキングを考案していきたいと思っています。金丸



## アドレス紹介

三気の里についてのご意見・ご要望その他何でも結構ですので、ぜひメールをお送り下さい。

## URL

<http://www7.ocn.ne.jp/~sanki>

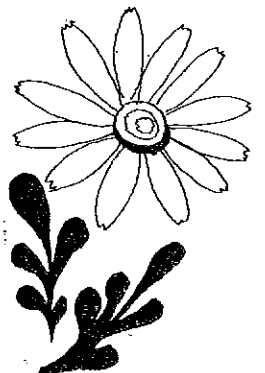
## E-mail

[sanki@siren.ocn.ne.jp](mailto:sanki@siren.ocn.ne.jp)

## お知らせ

農園芸班からお知らせです。現在、園芸部門でバジルの栽培を行なっており、1ポット50円で売りに出しています。三気の里で作っているバジルはスイートバジルという、いわばハーブの王様です。トマトとの相性がピッタリで、サラダやパスタなどイタリア料理には欠かせない材料です。是非、三気の里でスイートバジルを購入し、バジルソースを作ってみてください。ソースはゆでたてのペーストにからめるだけ。またレモン汁を加えてのばし、サラダのドレッシングがわりにもできます。バジルは、三気の里・岩戸の里(大津町にある温泉センター)・内田農機(西原村)で購入する事ができます。是非一度御賞味ください。農耕部門は：豪雨の為野菜は、ほぼ全滅となりました。しかし、悲しんでいる暇はありません。これから秋に向けて準備したいと思えます。

佐藤



# 後援会ありがとうございます

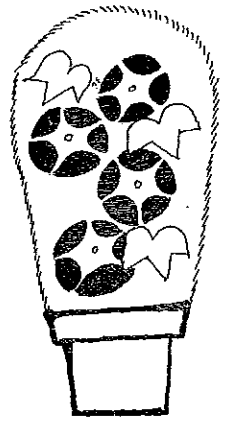
- |       |       |      |       |       |      |       |       |        |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |        |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |        |       |         |       |        |       |       |       |
|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 松山 秀俊 | 佐藤 香織 | 菅 盛中 | 白井 武士 | 高橋 頌慈 | 守 且孝 | 勝久 文雄 | 荒牧 貴子 | 久光 正太郎 | 木村 晴世 | 高田 智香子 | 八木 秀樹 | 林田 純子 | 牛島 房子 | 島津 眞一 | 田中 孝明 | 宮村 益則 | 宮原 義光 | 松岡 淳子 | 前田 恭男 | 江藤 ひとみ | 木本 博明 | 松田 雄二 | 松原 明子 | 芳川 知洋 | 永吉 ユリ | 山崎 日出男 | 川野 佳永 | 伏貫 直美 | 荒木 敬眞 | 国本 ツギノ | 脇島 義郎 | 岡田 英俊 | 澤田 秀敏 | 本多 邦雄 | 佐藤 和良 | 百崎 末雄 | 清田 翔平 | 吉田 俊人 | 渡辺 淑子 | 牛島 敏章 | 東嶋 敏子 | 山上 由利子 | 小野 耕三 | 榎本 貴美子 | 坂口 寛治 | 小屋野 ミチ子 | 福田 智子 | 平川 ヤエ子 | 田中 慶秀 | 坂田 美和 | 坂田 義人 |
|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|

- |      |       |       |       |       |       |       |      |       |       |        |      |        |        |           |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|------|--------|--------|-----------|
| 笠松 孝 | 松田 秀夫 | 川島 末男 | 大村 桂子 | 伊藤 康夫 | 中原 和子 | 橋口 大輝 | 森 裕三 | 宮原 富美 | 両角 栄子 | 浦田 三千男 | 高岡 了 | 伊豆野 良栄 | 守屋 久美子 | 財賀 真理子・礪至 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|------|--------|--------|-----------|

- |             |             |               |               |                  |             |                   |              |                 |
|-------------|-------------|---------------|---------------|------------------|-------------|-------------------|--------------|-----------------|
| 木村産業(木村 栄男) | 柴田 昌昭(柴田医院) | 上村 才司(上村循環器科) | 尾田 正幸(尾田内科医院) | 大村 直純(熊本大津町振興公社) | 宮本 允美(創文印刷) | 福島 敬祐(福島循環器科内科医院) | 萩原 直(ベクトル九州) | 岩倉雄一郎(岩倉整形外科医院) |
|-------------|-------------|---------------|---------------|------------------|-------------|-------------------|--------------|-----------------|

- |           |       |      |      |            |            |              |              |            |
|-----------|-------|------|------|------------|------------|--------------|--------------|------------|
| 医療法人 福田医院 | 菊陽台病院 | 中村酒店 | 熊本本店 | 熊本歯科技術専門学校 | 熊本歯科技術専門学校 | JA 菊池 大津中央支所 | JA 菊池 大津中央支所 | 街西日本防災センター |
|-----------|-------|------|------|------------|------------|--------------|--------------|------------|

医療法人社団 田上会  
 (株)マクマ&マクまもと  
 (株)九州ニールにて



※敬称略

## 後援会募集のご案内

三気の会では、後援会を募集  
 しています。御入会頂いた方に  
 は、毎月発行している機関紙「た  
 んぽぽ」をお送り致します。

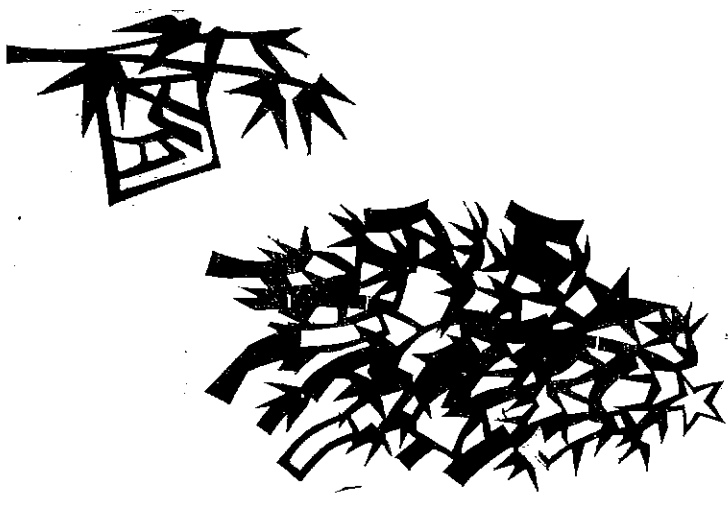
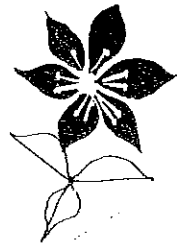
《振り込み先》  
 口座番号…郵便振替

01970・8・14902  
 社会福祉法人三気の会 後援会  
 住所

熊本県菊池郡大津町森54・2  
 一口 3千円  
 団体は、1万円より

## 研修・出張報告

- 7月9日～11日 施設実習(三気の家)「高橋」
- 7月14日 九州・山口自閉症児者施設連絡協議会「松田・上野・岩田・出生」
- 7月15日 会計・税金と人件費「小野」
- 7月16日～18日 指導的職員研修「麻生」



## 8月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
坂本さん、満塩さん、坂田さん、西沢さん、柴田さん、赤星さん、藍さん、暁さん、千田さん誕生日おめでとう!◎ 8日竹内 Dr 来診    21日誕生会    30日帰宅バス				1 赤星さんの誕生日(26)	2 実践キャンプ	3 (8/2~5)	夏季帰宅訓練(8/2~17)
4 暁さんの誕生日(23)	5	6 藍さんの誕生日(25)	7	8 坂本さんの誕生日(36) 竹内 Dr 来診	9	10 満塩さんの誕生日(35) 4 R 白川	実践キャンプ(8/2~5)
11 柴田さんの誕生日(27)	12	13	14	15	16	17 坂田さん(29)と西沢さん(29)誕生日	
18	19	20	21 たんぽぽ編集誕生会	22	23	24	
25	26 千田さんの誕生日(18)	27	28	29	30	31	

### 実習ボランティア

今年度も数多くの研修生が来られます。施設の勤務内容や日課、作業などを学んでもらうことも大切ですが、それ以上に学んで帰ってもらいたいことがあります。それは「利用者とかかわり」です。三気の里の利用者はコミュニケーションが上手くとれない人がたくさんいます。研修期間は短いですが、少しでも意思の疎通が出来るような、人と人との付き合いを経験してもらいたいと思っています。ただ、外側だけ施設を見て、ああだこうだ言うのではなく、そこで暮らしている人たちと真剣にかかわって初めて分かる事もたくさんあるはずですよ。

確かに自閉症という障害を持った人たちとかかわる為には専門的な知識も必要ですが、まずは「利用者と一緒に汗をかきながら掃除を行なうこと」から始めて欲しいと思っています。

高橋



(ボランティアありがとうございます)

\*生け花

西村 栄子

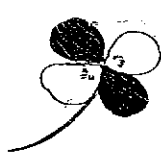
\*ピアノ演奏

井川マリ子

\*手話ダンス

光澤 和代

敬称略



### 編集後記

先月、多くの方々の後援会入会がありました。皆様の温かいご支援を改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

日々の生活のなかにどれだけ多くの方の支援があるのか、当たり前すぎて考える機会がありませんでした。しかし、何をするにも皆様の支援があつてこそできるという事に、目を向け感謝の気持ちをお忘れずにいなければならぬと思います。

最後に、多くの方の御協力誠にありがとうございました。そして、今後ご声援、御指導よろしくお願ひ致します。

岩本